Bluetooth ワイヤレスバーコードリーダー

CM-520

詳細設定マニュアル

Ver 1.2

改定履歴

Ver	発行日	改定履歴
1.1	2016/12/14	初版発行
1.2	2018/05/28	6.2 切断タイムアウト　FW バージョンによって設定値が異なる追記

目次

1. 同梱品と各部名称 8
- *1.1 同梱品* 8
- *1.2 各部名称* 8

2. システム設定 9
- *2.1 初期化* 9
- *2.2 ファームウェアバージョン表示* 9
- *2.3 スキャナ本体の日時設定* 9

3. 基本設定 10
- *3.1 動作モード切替(メモリーモード ⇄ Bluetooth モード)* 10
- *3.2 動作モードを固定する* 10
- *3.3 USB ケーブル差込み時メロディーの有無設定(全動作モード共通)* 11
- *3.4 USB ケーブル差込み時メロディーの音量設定(全動作モード共通)* 11
- *3.5 USB ケーブル差込み時バイブレータの有無設定(全動作モード共通)* 11
- *3.6 設定時バイブレータの有無設定(全動作モード共通)* 11
- *3.7 読取りビープ音の有無設定* 12
- *3.8 読取りビープ音の音量設定* 12
- *3.9 読取りバイブレータの有無設定* 13
- *3.10 システム通知音の有無設定* 14
- *3.11 システム通知音の音量設定* 14
- *3.12 システム通知バイブレータの有無設定* 15
- *3.13 トリガー/サブ ボタン操作によるイベント音の有無設定* 16
- *3.14 トリガー/サブ ボタン操作によるイベント音の音量設定* 16
- *3.15 トリガー/サブ ボタン操作によるイベントバイブレータの有無設定* 17
- *3.16 冗長チェック* 18
- *3.17 改行コード設定* 19
- *3.18 コード ID 送信* 20
- *3.19 日付の形式* 21
- *3.20 時間の形式* 21

4. キーボード設定 22
- *4.1 キーボード言語* 22
- *4.2 Caps Lock* 22
- *4.3 大文字/小文字の変換* 23
- *4.4 テンキーパッドデータ送信* 23
- *4.5 文字間/レコード間遅延* 24

5.Bluetooth HID 接続設定 25
・5.1 iOS(iPhone, iPad) デバイスとの接続 25
・5.2 Windows/Android 4 以上 デバイスとの接続 26
・5.3 ボタン操作でペアリングモードに入る 27
6.Bluetooth の設定 28
・6.1 ボタン操作で Bluetooth 切断 28
・6.2 切断タイムアウトの設定 28
・6.3 スキャナ表示名の設定 28
7.メモリーモードの動作設定 29
・7.1 蓄積データの転送 (Bluetooth 接続) 29
・7.2 蓄積データの転送 (USB 接続) 29
・7.3 マスストレージの設定(USB 接続) 30
・7.4 同一コード読取り禁止の設定 30
・7.5 蓄積データを全て消去 31
・7.6 蓄積データの転送単位 31
・7.7 蓄積データの自動消去 31
・7.8 ヘッダー/フッターの転送 31
・7.9 ヘッダー/フッターの編集 32
8.バーコード読取り設定 33
・8.1 バーコード設定初期化 33
・8.2 読取りデータの日付の転送 33
・8.3 読取りデータの時間の転送 34
・8.4 読取りデータの区切(日付/時間とバーコードデータの間)の転送 34
9.UPC-A の設定 35
・9.1 UPC-A 読取り 35
・9.2 UPC-A チェックデジット 送信 35
・9.3 UPC-A アドオンコード 読取り 35
・9.4 UPC-A アドオンコードの確認 35
・9.5 UPC-A を JAN-13 に変換 35
10.UPC-E の設定 36
・10.1 UPC-E 読取り 36
・10.2 UPC-E チェックデジット 送信 36
・10.3 UPC-E アドオンコード 読取り 36
・10.4 UPC-E アドオンコードの確認 36
・10.5 UPC-E を 13 桁に変換 36

11. JAN-13/EAN-13 の設定 37
・11.1 JAN-13/EAN-13 読取り 37
・11.2 JAN-13/EAN-13 チェックデジット 送信 37
・11.3 JAN-13/EAN-13 アドオンコード 読取り 37
・11.4 JAN-13/EAN-13 アドオンコードの確認 37
・11.5 ISBN/ISSN に変換 37
12. JAN-8/EAN-8 の設定 38
・12.1 JAN-8/EAN-8 読取り 38
・12.2 JAN-8/EAN-8 チェックデジット 送信 38
・12.3 JAN-8/EAN-8 アドオンコード 読取り 38
・12.4 JAN-8/EAN-8 アドオンコードの確認 38
・12.5 JAN-8/EAN-8 を 13 桁に変換 38
13. Code39 の設定 39
・13.1 Code39 読取り 39
・13.2 Code39 チェックデジット 確認 39
・13.3 Code39 チェックデジット 送信 39
・13.4 Code39 スタート/ストップコード 送信 39
・13.5 Code39 フォーマット 39
14. Interleaved 2 of 5 (ITF)の設定 40
・14.1 Interleaved 2 of 5 読取り 40
・14.2 Interleaved 2 of 5 チェックデジット 確認 40
・14.3 Interleaved 2 of 5 チェックデジット 送信 40
15. Industrial 2 of 5 の設定 41
・15.1 Industrial 2 of 5 読取り 41
・15.2 Industrial 2 of 5 チェックデジット 確認 41
・15.3 Industrial 2 of 5 チェックデジット 送信 41
16. Codabar/NW-7 の設定 42
・16.1 Codabar/NW-7 読取り 42
・16.2 Codabar/NW-7 チェックデジット 確認 42
・16.3 Codabar/NW-7 チェックデジット 送信 42
・16.4 Codabar/NW-7 スタート/ストップコード 42
・16.5 Codabar/NW-7 スタート/ストップコード形式 42
・16.6 Codabar/NW-7 スタート/ストップコード同一確認 42
17. Code128/GS1-128 の設定 43
・17.1 Code128 読取り 43
・17.2 GS1-128 AI () 付加設定 43

18.Matrix 2 of 5 の設定 43
・18.1 Matrix 2 of 5 読取り 43
・18.2 Matrix 2 of 5 チェックデジット 確認 43
・18.3 Matrix 2 of 5 チェックデジット 送信 43
19.Code93 の設定 44
・19.1 Code93 読取り 44
・19.2 Code93 チェックデジット 確認 44
・19.3 Code93 チェックデジット 送信 44
20.Code11 の設定 45
・20.1 Code11 読取り 45
・20.2 Code11 チェックデジット 確認 45
・20.3 Code11 チェックデジット 送信 45
21.MSI の設定 46
・21.1 MSI 読取り 46
・21.2 MSI チェックデジット 確認 46
・21.3 MSI チェックデジット 送信 46
22.Plessey の設定 47
・22.1 Plessey 読取り 47
・22.2 Plessey チェックデジット 確認 47
・22.3 Plessey チェックデジット 送信 47
23.GS1 Data Bar (RSS-14)の設定 48
・23.1 GS1 Data Bar (RSS-14) 読取り 48
・23.2 GS1 Data Bar (RSS-14) AI () 付加設定 48
・23.3 GS1 Data Bar (RSS-14) シンボル ID「]e0」付加設定 48
・23.4 GS1 Data Bar (RSS-14) チェックデジット 送信 48
24.GS1 Data Bar Limited の設定 49
・24.1 GS1 Data Bar Limited 読取り 49
・24.2 GS1 Data Bar Limited AI () 付加設定 49
・24.3 GS1 Data Bar Limited シンボル ID「]e0」付加設定 49
・24.4 GS1 Data Bar Limited チェックデジット 送信 49
25.GS1 Data Bar Stacked の設定 50
・25.1 GS1 Data Bar Stacked 読取り 50
・25.2 GS1 Data Bar Stacked AI () 付加設定 50
・25.3 GS1 Data Bar Stacked シンボル ID「]e0」付加設定 50
・25.4 GS1 Data Bar Stacked チェックデジット 送信 50

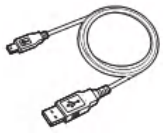
26.GS1 Data Bar Expanded の設定 51
・26.1 GS1 Data Bar Expanded 読取り 51
・26.2 GS1 Data Bar Expanded AI () 付加設定 51
・26.3 GS1 Data Bar Expanded シンボル ID「]e0」付加設定 51
・26.4 GS1 Data Bar Expanded チェックデジット 送信 51
27.GS1 Data Bar Expanded Stacked の設定 52
・27.1 GS1 Data Bar Expanded Stacked 読取り 52
・27.2 GS1 Data Bar Expanded Stacked AI () 付加設定 52
・27.3 GS1 Data Bar Expanded Stacked シンボル ID「]e0」付加設定 52
・27.4 GS1 Data Bar Expanded Stacked チェックデジット 送信 52
28.データ編集 53
・28.1 プリアンブルの設定 53
・28.2 プリフィックスの設定 54
・28.3 サフィックスの設定 55
・28.4 ポストアンブルの設定 56
・28.5 文字の挿入 57
・28.6 文字の削除 60
16 進バーコード 62
ASCII コードテーブル 62
専用 USB ドングル A-302 (USB-HID) とのペアリング 63

1. 同梱品と各部名称

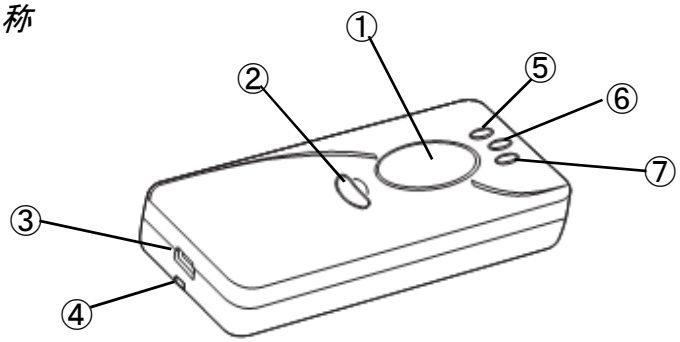
・1.1　同梱品

製品箱には下記のものが入っています。

不足や破損がございましたら弊社までご連絡ください。

			
スキャナ本体	USB ケーブル	ストラップ	簡易設定マニュアル

・1.2　各部名称



①	トリガーボタン	トリガーボタンを押下し、光を照射させバーコードの読取りを行います 長押し：動作モード切替
②	サブボタン	・ケーブルモード/Bluetooth モードの時 長押し：転送モード ・Bluetooth モードの時 長押し + トリガーボタン押下：ペアリングモード
③	USB ポート	付属の USB ケーブルを取付け、充電/ホスト PC との通信を行います
④	ストラップホール	付属のストラップを取付けます
⑤	モード LED 緑/オレンジ/赤	【緑】ケーブルモード 【オレンジ】メモリーモード 【青】Bluetooth モード 【赤→オレンジ→緑に変化】設定中
⑥	読取り LED 緑/オレンジ/赤	【緑】バーコード読取り 【オレンジ】転送 【赤】消去/エラー
⑦	パワーLED 赤	【高速点滅】バッテリー残量低下 【点灯】充電中 【2 秒間隔の点滅】満充電

設定開始

/$%ENTR

2. システム設定

・2.1　初期化

※Bluetooth の設定も工場出荷時の設定に戻ります。初期化後は、再ペアリングが必要です。

手順：「設定開始」→「初期化」の順にスキャンします。

初期化

ZADE

・2.2　ファームウェアバージョン表示

※ケーブルモード時のみ有効です。

手順：メモ帳などのテキストエディターを開きます。付属の USB ケーブルを PC に接続して下さい。

「設定開始」→「バージョン情報」の順にスキャンします。

バージョン情報

ZVER

・2.3　スキャナ本体の日時設定

手順：「設定開始」→「日時設定」→数字バーコード→「設定保存」の順にスキャンします。

「設定保存」の後、「設定終了」のスキャンは必要ありません。

日時設定

ZCLK

数字バーコード　例）2016 年 4 月 27 日 13:30 42 秒 の場合、1, 6, 0, 4, 2, 7, 1, 3, 3, 0, 4, 2 の順にスキャンします。

0 %00	1 %01	2 %02	3 %03	4 %04
5 %05	6 %06	7 %07	8 %08	9 %09

設定保存

%OK

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

3. 基本設定

・3.1　動作モード切替(メモリーモード ⇄ Bluetooth モード)

※メモリーモード(モード LED：オレンジ)をご使用時に Bluetooth モードに切替える

又、Bluetooth モード（モード LED:青）をご使用時にメモリーモードに切替える設定です。

USB ケーブルを外して行ってください。

手順：「設定開始」→①②のどちらかを選択してスキャンします。

「設定終了」のスキャンは必要ありません。

①メモリーモード

モード LED＝オレンジ

ZTOM

②Bluetooth モード

モード LED＝青

ZTOB

●ボタン操作でメモリーモード ⇄ Bluetooth に切替える方法

手順：1～6 の順に進んでいきます。

1. トリガーボタンを長押し
2. ブザーが 3 回鳴ります
3. そのままトリガーボタン長押し
4. ブザーが 1 回鳴ります
5. トリガーボタンから手を離す
6. 再起動切替わります

・3.2　動作モードを固定する

※動作モードを固定すると、誤ってボタン操作で動作モードを切替えてしまうことを防ぎます。

※④⑤⑥を設定するとケーブルモードが使えなくなります。

USB ケーブルでデータの転送ができません。USB ケーブル接続時は充電のみおこないます。

手順：「設定開始」→①②③④⑤⑥⑦のどれかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

①ケーブル ＋ メモリ ＋ BT

A40C6

②ケーブル ＋ メモリ

A40C2

③ケーブル ＋ BT

A40C4

④メモリ

A40C1

⑤BT

A40C3

⑥メモリ ＋ BT

A40C5

⑦ケーブル

A40C0

※BT = Bluetooth

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.3　USB ケーブル差込み時メロディーの有無設定(全動作モード共通)

手順:「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

無効

A4540

有効

A4541

・3.4　USB ケーブル差込み時メロディーの音量設定(全動作モード共通)

手順:「設定開始」→小/大のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

小

A4580

大

A4583

・3.5　USB ケーブル差込み時バイブレータの有無設定(全動作モード共通)

手順:「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

無効

A4550

有効

A4551

・3.6　設定時バイブレータの有無設定(全動作モード共通)

手順:「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

無効

A4570

有効

A4571

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.7　読取りビープ音の有無設定

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

B8500

有効

B8501

◆メモリーモード時

無効

BE500

有効

BE501

◆Bluetooth モード時

無効

C4500

有効

C4501

・3.8　読取りビープ音の音量設定

手順：「設定開始」→小/大のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

小

B8480

大

B8483

◆メモリーモード時

小

BE480

大

B8483

◆Bluetooth モード時

小

C4480

大

C4483

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.9　読取りバイブレータの有無設定

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

B8600

有効

B8601

◆メモリーモード時

無効

BE600

有効

BE601

◆Bluetooth モード時

無効

C4600

有効

C4601

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.10　システム通知音の有無設定

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

B8510

有効

B8511

・転送モードに入る時の音
・蓄積データ転送完了の音

◆メモリーモード時

無効

BE510

有効

BE511

・同一コード読取り禁止設定時に
　同一コードを読取った時の音　他

◆Bluetooth モード時

※Pin コード入力直後の接続時の音は無効になりません。

無効

C4510

有効

C4511

・ペアリングモードに入る時の音
・Pin コード入力時の音
・通信確立時の音

・3.11　システム通知音の音量設定

手順：「設定開始」→小/大のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

小

B8490

大

B8493

・転送モードに入る時の音
・蓄積データ転送完了の音

◆メモリーモード時

小

BE490

大

BE493

・同一コード読取り禁止設定時に
　同一コードを読取った時の音　他

◆Bluetooth モード時

小

C4490

大

C4493

・ペアリングモードに入る時の音
・Pin コード入力時の音
・通信確立時の音

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.12　システム通知バイブレータの有無設定

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

B8610

有効

B8611

・転送モードに入る時
・蓄積データ転送完了

◆メモリーモード時

無効

BE610

有効

BE611

・同一コード読取り禁止設定時に
　同一コードを読取った時　　他

◆Bluetooth モード時

無効

C4610

有効

C4611

・ペアリングモードに入る時
・Pin コード入力時
・通信確立時

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.13　トリガー/サブ ボタン操作によるイベント音の有無設定

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

B8520

有効

B8521

・転送モードに入る時のサブボタン長押し時の音

◆メモリーモード時

無効

BE520

有効

BE521

・Bluetooth モードへ切替える時のトリガーボタン長押し時の音

◆Bluetooth モード時

無効

C4520

有効

C4521

・ペアリングモードに入る時のサブボタン長押しの音

・3.14　トリガー/サブ ボタン操作によるイベント音の音量設定

手順：「設定開始」→小/大のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

小

B84A0

大

B84A3

・転送モードに入る時のサブボタン長押し時の音

◆メモリーモード時

小

BE4A0

大

BE4A3

・Bluetooth モードへ切替える時のトリガーボタン長押し時の音

◆Bluetooth モード時

小

C44A0

大

C44A3

・ペアリングモードに入る時のサブボタン長押しの音

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.15　トリガー/サブ ボタン操作によるイベントバイブレータの有無設定

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

B8620

有効

B8621

・転送モードに入る時のサブボタン長押し時

◆メモリーモード時

無効

BE620

有効

BE621

・Bluetooth モードへ切替える時のトリガーボタン長押し時

◆Bluetooth モード時

無効

C4620

有効

C4621

・ペアリングモードに入る時のサブボタン長押し

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.16　冗長チェック

※1 回のスキャンでバーコードを内部的に複数回読取りしを内部的にチェックを行う設定です。

　誤読を避けるためには「有効」にすることをお勧め致します。

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

BA210

有効

BA211

◆メモリーモード時

無効

C0210

有効

C0211

◆Bluetooth モード時

無効

C6210

有効

C6211

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.17　改行コード設定

手順：「設定開始」→「動作モードの選択」から①②のどちらかを選択→

「改行コードの選択」から選択した改行コード表内のバーコードを上から順にスキャン→

「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

動作モードの選択

①ケーブルモード

BAEE3

② Bluetooth モード

C6EE3

改行コードの選択

CR+LF (0D 0A)	CR (0D)	LF (0A)	TAB (09)	なし (00)
%00 %0D %00 %0A	%00 %0D	%00 %0A	%00 %09	%00 %00

設定保存

%OK

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.18　コード ID 送信

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

BA040

有効

BA041

◆メモリーモード時

無効

C0040

有効

C0041

◆Bluetooth モード時

無効

C6040

有効

C6041

ｺｰﾄﾞ ID	バーコード種	ｺｰﾄﾞ ID	バーコード種
A	UPC-A	N	Codabar/NW-7
E	UPC-E	L	Code 93
FF	JAN-8	O	Code 11
F	JAN-13	P	MSI
M	Code39	R	Plessey
K	Code128	T	GS1 Data bar
I	Interleaved 2 of 5	U	GS1 Data bar Limited
J	Industrial 2 of 5	V	GS1 Data bar Stacked
G	Matrix 2 of 5	W	GS1 Data bar Expanded
		X	GS1 Data bar Expanded Stacked

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・3.19　日付の形式

手順：「設定開始」→①②③④⑤のどれかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

①YYYYMMDD

A42C0

②MMDDYYYY

A42C1

③DDMMYYYY

A42C2

④YYMMDD

A42C3

⑤MMDDYY

A42C4

・3.20　時間の形式

手順：「設定開始」→①②③のどれかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

①hhmmss

A42A0

②hhmm

A42A1

③mmss

A42A2

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

4. キーボード設定

・4.1　キーボード言語

手順：「設定開始」→英語/日本語のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード/メモリーモード時

英語

AB1C0

日本語

AB1C2

◆Bluetooth モード時

英語

AF1C0

日本語

AF1C2

・4.2　Caps Lock

◆ケーブルモード/メモリーモード時

※：①自動：ホストの Caps Lock の状態に関係なく、バーコードデータを出力します。

手順：「設定開始」→①②③のどれかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

①自動

AB0A0

②オフ

AB0A1

③オン

AB0A2

◆Bluetooth モード時

手順：「設定開始」→オフ/オンのどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

オフ

AF0A1

オン

AF0A2

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・4.3　大文字/小文字の変換

手順：「設定開始」→①②③④のどれかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

①無効

BA380

②小文字/大文字反転変換

BA381

③全て小文字

BA382

④全て大文字

BA383

◆メモリーモード時

①無効

C0380

②小文字/大文字反転変換

C0381

③全て小文字

C0382

④全て大文字

C0383

◆Bluetooth モード時

①無効

C6380

②小文字/大文字反転変換

C6381

③全て小文字

C6382

④全て大文字

C6383

・4.4　テンキーパッドデータ送信

※有効：テンキーパッドデータとして出力します。 無効：通常のデータとして出力します。

手順：「設定開始」→有効/無効のどちらかを選択→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード/メモリーモード時

有効

AB061

無効

AB060

◆Bluetooth モード時

有効

AF061

無効

AF060

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・4.5　文字間/レコード間遅延

①～③の順に進んでいきます。

①遅延桁間隔設定

※遅延させる文字間の桁数を設定します。「1」に設定してみてください。

手順：「設定開始」→動作モードを選択（ケーブルモード時/Bluetooth モード時）→数字バーコード「1」
→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

ケーブルモード時

ABDE0

Bluetooth モード時

AFDE0

②文字間の転送時間設定

※出力データが正しくない場合や欠落する場合は、「5」「0」に設定してみてください。

設定範囲：0～255　単位：1msec

手順：「設定開始」→動作モードを選択（ケーブルモード時/Bluetooth モード時）→数字バーコード
「5」→「0」→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

ケーブルモード時

ABEE0

Bluetooth モード時

AFEE0

③レコード間の転送時間設定

※出力データが正しくない場合や欠落する場合は、「1」「0」に設定してみてください。

設定範囲：0～255　単位：10msec

手順：「設定開始」→動作モードを選択（ケーブルモード時/Bluetooth モード時）→数字バーコード
「1」→「0」→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

ケーブルモード時

ABFE0

Bluetooth モード時

AFFE0

数字バーコード

0 %00	1 %01	2 %02	3 %03	4 %04
5 %05	6 %06	7 %07	8 %08	9 %09

設定保存

%OK

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

5.Bluetooth HID 接続設定

・5.1　iOS(iPhone, iPad) デバイスとの接続　①～⑤の順に進んでいきます。

①CM-520 を Bluetooth モードに設定します。

モード LED が青の時は、既に Bluetooth モードです。②に進んで下さい。

手順：「設定開始」→「Bluetooth モード」の順にスキャンします。

設定開始

/$%ENTR

Bluetooth モード

ZTOB

②iOS HID 接続

手順：「設定開始」→「iOS-HID」→「設定終了」の順にスキャンします。

設定開始

/$%ENTR

iOS-HID

C41D4

設定終了

ZEND

③ペアリングモード

手順：「設定開始」→「ペアリングモード」の順にスキャンします。

設定開始

/$%ENTR

ペアリングモード

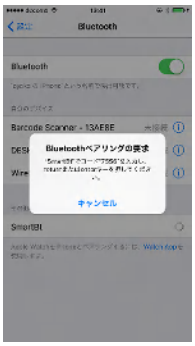
ZPAR

④接続デバイスの Bluetooth を ON にします。　※画像は、iPhone の例です。

「SmartBt」を選択します。

選択すると Pin コードが

表示されます。



表示された Pin コードの数字バーコードスキャンします。

0 %00	1 %01	2 %02	3 %03	4 %04
5 %05	6 %06	7 %07	8 %08	9 %09

⑤「設定保存」バーコードをスキャンします。

設定保存

%OK

●Bluetooth 接続中は、サブボタン押下で、ソフトキーボードの表示/非表示を切り替えます。

●スリープ状態でトリガーボタンかサブボタンを押下すると再接続します。

・5.2　Windows/Android 4 以上　デバイスとの接続　①～⑤の順に進んでいきます。

①CM-520 を Bluetooth モードに設定します。

モード LED が青の時は、既に Bluetooth モードです。②に進んで下さい。

手順：「設定開始」→「Bluetooth モード」の順にスキャンします。

設定開始

/$%ENTR

Bluetooth モード

ZTOB

②Windows/Android HID 接続

手順：「設定開始」→「HID」→「設定終了」の順にスキャンします。

設定開始

/$%ENTR

HID

C41D3

設定終了

ZEND

③ペアリングモード

手順：「設定開始」→「ペアリングモード」の順にスキャンします。

設定開始

/$%ENTR

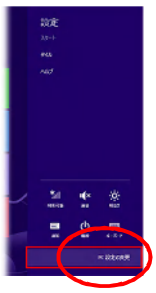
ペアリングモード

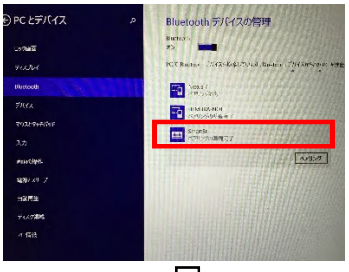
ZPAR

④PC の Bluetooth を ON にします。ON にする方法は PC の説明書をご確認下さい。

※画像は、Windows8.1 の例です。

「チャームの設定」→「PC の設定」→「PC とデバイス」→「Bluetooth」の順に選択します。





「SmartBt」を選択します。

選択すると Pin コードが表示されます。

表示されたPinコードの数字バーコードスキャンします。

0 %00	1 %01	2 %02	3 %03	4 %04
5 %05	6 %06	7 %07	8 %08	9 %09

⑤設定保存バーコードをスキャンします。

設定保存

%OK

●Android：ソフトキーボードを表示させるには、Bluetooth接続を切断する必要があります。

切断方法は、「6.1 ボタン操作でBluetooth切断」をご確認下さい。

・5.3　ボタン操作でペアリングモードに入る

手順：1～3の順に進んでいきます。

1. サブボタンを長押し
2. ブザーが3回鳴ります（青のLEDが高速で点滅）
3. サブボタンを押したまま、トリガーボタンを押す

●誤ってボタン操作でペアリングモードに入らないようにすることができます。

手順：「設定開始」→「禁止」→「設定終了」の順にスキャンします。

設定開始

/$%ENTR

禁止

C4280

許可

C4281

設定終了

ZEND

6.Bluetooth の設定

・6.1　ボタン操作で Bluetooth 切断

手順：1～3 の順に進んでいきます。

1. サブボタンを長押し
2. ブザーが 3 回鳴ります
3. サブボタンから手を離す

※トリガーボタンかサブボタンを押下すると再接続します。

・6.2　切断タイムアウトの設定

手順：「設定開始」→「切断タイムアウト」→数字バーコード→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

設定開始

切断タイムアウト

●FW バージョン：0001-0031 以上の場合　設定範囲：1～255　（最小：10 秒　最大：2550 秒）

数字バーコード(例：3 分 ＝　180 秒 → 1,8)

●FW バージョン：0001-0030 以下の場合　設定範囲：10～255（最小：10 秒　最大：255 秒）

数字バーコード(例：3 分 ＝ 180 秒 → 1,8,0)

※FW バージョンの確認方法は、【2.2　ファームウェアバージョン表示】をご利用ください。

0 %00	1 %01	2 %02	3 %03	4 %04
5 %05	6 %06	7 %07	8 %08	9 %09

設定保存

設定終了

・6.3　スキャナ表示名の設定

※ペアリング時に、接続デバイスが検索するスキャナの表示名です。(初期値：SmartBt)

手順：「設定開始」→「スキャナの表示名」→16 進バーコード(P.61)→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

設定開始

スキャナの表示名

設定開始

/$%ENTR

7.メモリーモードの動作設定

・7.1　蓄積データの転送（Bluetooth 接続）

◆ホスト端末と Bluetooth 接続で蓄積データを転送

※送信先のホスト端末とは「Bluetooth HID 接続設定」にて事前に接続を行って下さい。

①メモリーモードを Bluetooth モードに切替えます。

手順：「設定開始」→「Bluetooth モード」の順にスキャンします。

Bluetooth モード

ZTOB

※モード LED がオレンジ→青になります。

●ボタン操作でメモリーモード ⇄ Bluetooth に切替える方法

手順：1～6 の順に進んでいきます。

1. トリガーボタンを長押し
2. ブザーが 3 回鳴ります
3. そのままトリガーボタンを長押し
4. ブザーが 1 回鳴ります
5. トリガーボタンから手を離す
6. 再起動し切替わります

②サブボタンを長押しした状態にします。→3 回のブザー(ピピピッ)→さらに長押し
→1 回のブザー(ピー)→サブボタンを離す。
読取り LED がオレンジに点滅し、転送モードになります。

③ホスト端末のアプリを立ち上げカーソルを合わせます。

④トリガーボタンを押下すると蓄積データが転送されます。

・7.2　蓄積データの転送（USB 接続）

◆ホスト端末と USB ケーブル接続で蓄積データを転送

①CM-520 と電源が入ったパソコンを付属している USB ケーブルで接続します。

②サブボタンを長押しした状態にします。→3 回のブザー(ピピピッ)→さらに長押し
→1 回のブザー(ピー)→サブボタンを離す。
読取り LED がオレンジに点滅し、転送モードになります。

●バーコードでも転送モードに変更できます。

手順：「設定開始」→「転送モード」の順にスキャンします。

転送モード

ZMTX

③ホスト端末のアプリを立ち上げカーソルを合わせます。

④トリガーボタンを押下すると蓄積データが転送されます。

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・7.3　マスストレージの設定(USB 接続)

※マスストレージの設定にすると、スキャナが USB メモリーのようになり、蓄積データをテキストファイルとして取り出すことができます。

手順：「設定開始」→「マスストレージ」→「設定終了」の順にスキャンします。

マスストレージ

BE1D4

標準動作

BE1D0

◆マスストレージで蓄積データファイルを取り出す

※上記マスストレージの設定(USB 接続)で「マスストレージ」に設定してから行って下さい。

①スキャナと PC を付属の USB ケーブルで接続します。

②サブボタンをを長押しした状態にします。→3 回のブザー(ピピピッ)→さらに長押し→1 回のブザー(ピー)→サブボタンを離す。

読取り LED が緑に点滅し、転送モードになります。

●バーコードでも転送モードに変更できます。

手順：「設定開始」→「転送モード」の順にスキャンします。

転送モード

ZMTX

③コンピューターから「リムーバブルディスク」を開きます。

「MEMORY.TXT」が表示されます。

④サブボタンを押下すると、ケーブルモードに戻ります。

マスストレージ　テキストファイルのデータ形式

注意：テキストファイル「MEMORY.TXT」のデータ形式は固定です。

読取り日付	区切	読取り時間	区切	読取りデータ	ポストアンブル
YYYY-MM-DD	SP	hh:mm:ss	SP	バーコードデータ	CR+LF

・7.4　同一コード読取り禁止の設定

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

無効

C0200

有効

C0201

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・7.5　蓄積データを全て消去

手順：「全て消去」のみをスキャンします。**「設定開始」「設定保存」「設定終了」は不要です。**

全て消去

/$%MCR

●ボタン操作で蓄積データを全て消去する方法　注意：メモリーモード時のみの機能です。

手順：1.2 の順に進んでいきます。

1. サブボタンを長押し　→　ブザーが 3 回鳴ります（オレンジ LED が高速で点滅）
2. サブボタンを押したまま、ドリガーボタンを押す

・7.6　蓄積データの転送単位

※全て転送：転送モード時、トリガーボタン 1 回押下の操作で全ての蓄積データを転送します。

1 件ずつ転送：転送モード時、トリガーボタンを押下するたびに、1 件のデータを転送します。

手順：「設定開始」→全て転送/1 件ずつ転送のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

全て転送

BE7C0

1 件ずつ転送

BE7C1

・7.7　蓄積データの自動消去

※無効：蓄積データ転送後も、転送したデータはメモリーに残ります。

有効：蓄積データ転送後、転送したデータはメモリーから消去されます。

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

無効

BE7A0

有効

BE7A1

・7.8　ヘッダー/フッターの転送

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

ヘッダー：有効

BE761

ヘッダー：無効

BE760

フッター：有効

BE771

フッター：無効

BE770

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・7.9　ヘッダー/フッターの編集

※ヘッダー/フッターの形式

ヘッダー/フッター文字	日時	区切	レコード件数	ポストアンブル
<Header> <Footer>	YYYY-MM-DD SP hh:mm:ss	SP	nnnnnn	CR+LF

※転送するには、ヘッダー/フッターの転送を「有効」にする必要があります。

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

●ヘッダー：文字の転送

無効

A4600

有効

A4601

●ヘッダー：日時の転送

無効

A4620

有効

A4621

●ヘッダー：レコード件数の転送

無効

A4630

有効

A4631

●フッター：文字の転送

無効

A4700

有効

A4701

●フッター：日時の転送

無効

A4720

有効

A4721

●フッター：レコード件数の転送

無効

A4730

有効

A4731

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

8. バーコード読取り設定

・8.1　バーコード設定初期化

※バーコードに関する全設定が工場出荷時の設定に戻ります。

手順：「設定開始」→「バーコードデフォルト」の順にスキャンします。

バーコードデフォルト

ZDEF

・8.2　読取りデータの日付の転送

※読取りデータの形式

読取り日付	区切	読取り時間	区切	バーコードデータ	ポストアンブル
YYYY-MM-DD	SP	hh:mm:ss	SP	nnnnnn	CR+LF

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

BA130

有効

BA131

◆メモリーモード時

無効

C0130

有効

C0131

◆Bluetooth モード時

無効

C6130

有効

C6131

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・8.3　読取りデータの時間の転送

※読取りデータの形式

読取り日付	区切	読取り時間	区切	バーコードデータ	ポストアンブル
YYYY-MM-DD	SP	hh:mm:ss	SP	nnnnnn	CR+LF

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

BA140

有効

BA141

◆メモリーモード時

無効

C0140

有効

C0141

◆Bluetooth モード時

無効

C6140

有効

C6141

・8.4　読取りデータの区切（日付/時間とバーコードデータの間）の転送

手順：「設定開始」→無効/有効のどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

無効

BA110

有効

BA111

◆メモリーモード時

無効

C0110

有効

C0111

◆Bluetooth モード時

無効

C6110

有効

C6111

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

9.UPC-A の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・9.1　UPC-A 読取り

無効

D0000

有効

D0001

・9.2　UPC-A チェックデジット 送信

送信しない

D0070

送信する

D0071

・9.3　UPC-A アドオンコード 読取り

※2 桁、5 桁、2 桁/5 桁に設定した場合は、UPC-A アドオンコードの確認を「有効」に設定して下さい。

無効

D0190

2 桁

D0191

5 桁

D0192

2 桁/5 桁

D0193

・9.4　UPC-A アドオンコードの確認

無効

D0010

有効

D0011

注意：アドオンコードに光が照射されていな場合、アドオンコードデータが出力されないことがあります。

・9.5　UPC-A を JAN-13 に変換

※有効：UPC-A のデータ(12 桁)の先頭に「0」を付加し JAN-13 のデータ(13 桁)を出力します。

無効：UPC-A のデータ(12 桁)をそのまま出力します。

無効

D0020

有効

D0021

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

10.UPC-E の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・10.1　UPC-E 読取り

無効

D2000

有効

D2001

・10.2　UPC-E チェックデジット 送信

送信しない

D2070

送信する

D2071

・10.3　UPC-E アドオンコード 読取り

※2 桁、5 桁、2 桁/5 桁に設定した場合は、UPC-E アドオンコードの確認を「有効」に設定して下さい。

無効

D2190

2 桁

D2191

5 桁

D2192

2 桁/5 桁

D2193

・10.4　UPC-E アドオンコードの確認

無効

D2010

有効

D2011

注意：アドオンコードに光が照射されていな場合、アドオンコードデータが出力されないことがあります。

・10.5　UPC-E を 13 桁に変換

※有効：UPC-E のデータ(8 桁)を 13 桁に変換し出力します。

無効：UPC-E のデータ(8 桁)をそのまま出力します。

無効

D2020

有効

D2021

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

11. JAN-13/EAN-13 の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・11.1　JAN-13/EAN-13 読取り

無効

D4000

有効

D4001

・11.2　JAN-13/EAN-13 チェックデジット 送信

送信しない

D4070

送信する

D4071

・11.3　JAN-13/EAN-13 アドオンコード 読取り

※2 桁、5 桁、2 桁/5 桁に設定した場合は、JAN-13/EAN-13 アドオンコードの確認を「有効」に設定して下さい。

無効

D4190

2 桁

D4191

5 桁

D4192

2 桁/5 桁

D4193

・11.4　JAN-13/EAN-13 アドオンコードの確認

無効

D4010

有効

D4011

注意：アドオンコードに光が照射されていな場合、アドオンコードデータが出力されないことがあります。

・11.5　ISBN/ISSN に変換

※無効：「978」からはじまる 13 桁のバーコードデータをそのまま出力します。

有効：国記号、出版社記号、書名記号、チェックデジットを出力します。「-」は付加しません。

無効

D4020

有効

D4021

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

12. JAN-8/EAN-8 の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・12.1　JAN-8/EAN-8 読取り

無効

D6000

有効

D6001

・12.2　JAN-8/EAN-8 チェックデジット 送信

送信しない

D6070

送信する

D6071

・12.3　JAN-8/EAN-8 アドオンコード 読取り

※2 桁、5 桁、2 桁/5 桁に設定した場合は、JAN-8/EAN-8 アドオンコードの確認を「有効」に設定して下さい。

無効

D6190

2 桁

D6191

5 桁

D6192

2 桁/5 桁

D6193

・12.4　JAN-8/EAN-8 アドオンコードの確認

無効

D6010

有効

D6011

注意：アドオンコードに光が照射されていな場合、アドオンコードデータが出力されないことがあります。

・12.5　JAN-8/EAN-8 を 13 桁に変換

※有効：JAN-8/EAN-8 のデータ(8 桁)を 13 桁に変換し出力します。

無効：JAN-8/EAN-8 のデータ(8 桁)をそのまま出力します。

無効

D6020

有効

D6021

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

13.Code39 の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・13.1　Code39 読取り

無効

D8000

有効

D8001

・13.2　Code39 チェックデジット 確認

※「有効」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

D8180

有効

D8181

・13.3　Code39 チェックデジット 送信

※Code39 チェックデジット 確認を「有効」に設定する必要があります。

無効

D8070

有効

D8071

・13.4　Code39 スタート/ストップコード 送信

無効

D8030

有効

D8031

・13.5　Code39 フォーマット

標準

D8190

Full ASCII

D8191

Code 39 Full ASCII Table （P.～）

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

14.Interleaved 2 of 5 (ITF)の設定

手順:「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・14.1　Interleaved 2 of 5 読取り

無効

DE000

有効

DE001

・14.2　Interleaved 2 of 5 チェックデジット 確認

※「有効」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

DE180

有効

DE181

・14.3　Interleaved 2 of 5 チェックデジット 送信

※Interleaved 2 of 5 チェックデジット 確認を「有効」に設定する必要があります。

無効

DE070

有効

DE071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

15.Industrial 2 of 5の設定

手順:「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・15.1　Industrial 2 of 5 読取り

無効

E0000

有効

E0001

・15.2　Industrial 2 of 5 チェックデジット 確認

※「有効」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

E0180

有効

E0181

・15.3　Industrial 2 of 5 チェックデジット 送信

※Industrial 2 of 5 チェックデジット 確認を「有効」に設定する必要があります。

無効

E0070

有効

E0071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

16.Codabar/NW-7 の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・16.1　Codabar/NW-7 読取り

無効

DC000

有効

DC001

・16.2　Codabar/NW-7 チェックデジット 確認

※「有効」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

DC180

有効

DC181

・16.3　Codabar/NW-7 チェックデジット 送信

※Codabar/NW-7 チェックデジット 確認を「有効」に設定する必要があります。

無効

DC070

有効

DC071

・16.4　Codabar/NW-7 スタート/ストップコード

送信しない

DC030

送信する

DC031

・16.5　Codabar/NW-7 スタート/ストップコード形式

ABCD/ABCD

DC1A0

abcd/abcd

DC1A1

ABCD/TN*E

DC1A2

abcd/tn*e

DC1A3

・16.6　Codabar/NW-7 スタート/ストップコード同一確認

無効

DC020

有効

DC021

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

17.Code128/GS1-128 の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・17.1　Code128 読取り

無効

DA000

有効

DA001

・17.2　GS1-128 AI（）付加設定

付加しない

DA1A0

付加する

DA1A2

18.Matrix 2 of 5 の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・18.1　Matrix 2 of 5 読取り

無効

E2000

有効

E2001

・18.2　Matrix 2 of 5 チェックデジット 確認

※「有効」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

E2180

有効

E2181

・18.3　Matrix 2 of 5 チェックデジット 送信

※Matrix 2 of 5 チェックデジット 確認を「有効」に設定する必要があります。

無効

E2070

有効

E2071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

19.Code93 の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・19.1　Code93 読取り

無効

E4000

有効

E4001

・19.2　Code93 チェックデジット 確認

※「1 桁」「2 桁」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

E4180

1 桁

E4181

2 桁

E4182

・19.3　Code93 チェックデジット 送信

※Code93 チェックデジット 確認を「無効」以外に設定する必要があります。

無効

E4070

有効

E4071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

20.Code11 の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・20.1　Code11 読取り

無効

E6000

有効

E6001

・20.2　Code11 チェックデジット 確認

※「1 桁」「2 桁」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

E6180

1 桁

E6181

2 桁

E6182

・20.3　Code11 チェックデジット 送信

※Code11 チェックデジット 確認を「無効」以外に設定する必要があります。

無効

E6070

有効

E6071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

21.MSI の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・21.1　MSI 読取り

無効

E8000

有効

E8001

・21.2　MSI チェックデジット 確認

※「無効」以外に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

E8180

Mod10

E6181

Mod10/10

E8182

Mod11/10

E8183

・21.3　MSI チェックデジット 送信

※MSI チェックデジット 確認を「無効」以外に設定する必要があります。

無効

E8070

有効

E8071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

22.Plessey の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・22.1　Plessey 読取り

無効

EA000

有効

EA001

・22.2　Plessey チェックデジット 確認

※「有効」に設定すると、チェックデジットがないバーコードの読取りができなくなります。

無効

EA180

有効

E8181

・22.3　Plessey チェックデジット 送信

※Plessey チェックデジット 確認を「有効」に設定する必要があります。

無効

EA070

有効

EA071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

23.GS1 Data Bar (RSS-14)の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・*23.1　GS1 Data Bar (RSS-14) 読取り*

無効

EE000

有効

EE001

・*23.2　GS1 Data Bar (RSS-14) AI () 付加設定*

付加しない

EE040

付加する

EE041

・*23.3　GS1 Data Bar (RSS-14) シンボル ID「]e0」付加設定*

付加しない

EE050

付加する

EE051

・*23.4　GS1 Data Bar (RSS-14) チェックデジット 送信*

無効

EE070

有効

EE071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

24.GS1 Data Bar Limited の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・24.1　GS1 Data Bar Limited 読取り

無効

F0000

有効

F0001

・24.2　GS1 Data Bar Limited AI（）付加設定

付加しない

F0040

付加する

F0041

・24.3　GS1 Data Bar Limited シンボル ID「]e0」付加設定

付加しない

F0050

付加する

F0051

・24.4　GS1 Data Bar Limited チェックデジット 送信

無効

F0070

有効

F0071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

25.GS1 Data Bar Stacked の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・*25.1　GS1 Data Bar Stacked 読取り*

無効

F2000

有効

F2001

・*25.2　GS1 Data Bar Stacked AI（）付加設定*

付加しない

F2040

付加する

F2041

・*25.3　GS1 Data Bar Stacked シンボル ID「]e0」付加設定*

付加しない

F2050

付加する

F2051

・*25.4　GS1 Data Bar Stacked チェックデジット 送信*

無効

F2070

有効

F2071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

26.GS1 Data Bar Expanded の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・*26.1　GS1 Data Bar Expanded 読取り*

無効

F4000

有効

F4001

・*26.2　GS1 Data Bar Expanded AI（）付加設定*

付加しない

F4040

付加する

F4041

・*26.3　GS1 Data Bar Expanded シンボル ID「]e0」付加設定*

付加しない

F4050

付加する

F4051

・*26.4　GS1 Data Bar Expanded チェックデジット 送信*

無効

F4070

有効

F4071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

27.GS1 Data Bar Expanded Stacked の設定

手順：「設定開始」→それぞれの設定バーコード→「設定終了」の順にスキャンします。

・*27.1　GS1 Data Bar Expanded Stacked 読取り*

無効

F6000

有効

F6001

・*27.2　GS1 Data Bar Expanded Stacked AI（）付加設定*

付加しない

F6040

付加する

F6041

・*27.3　GS1 Data Bar Expanded Stacked シンボル ID「]e0」付加設定*

付加しない

F6050

付加する

F6051

・*27.4　GS1 Data Bar Expanded Stacked チェックデジット 送信*

無効

F6070

有効

F6071

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

28. データ編集

バーコードデータの前後に任意の文字を付加する設定です。

①プリアンブル：全てのバーコードデータの先頭に文字を付加します。(2 桁まで設定可能)

②プリフィックス：プリアンブルの次に文字を付加します。(8 桁まで設定可能)

③サフィックス：バーコードデータの末尾に文字を付加します。(8 桁まで設定可能)

④ポストアンブル：サフィックスの次に文字を付加します。(2 桁まで設定可能)

工場出荷時は、改行コードの「CR + LF」が設定されています。

①プリアンブル	②プリフィックス	バーコードデータ	③サフィックス	④ポストアンブル
1～2 桁	1～8 桁	可変	1～8 桁	1～2 桁 初期値：CR + LF

・28.1　プリアンブルの設定

※挿入文字の設定を行った後に、挿入文字の送信を「送信する」に設定します。

・挿入文字の設定

手順：「設定開始」→①②③のどれかを選択→16 進バーコード(P.61)→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

例：「A」を設定する場合、16 進バーコードの「4」→「1」の順にスキャンします。

①ケーブルモード時

BACE3

②メモリーモード時

C0CE3

③Bluetooth モード時

C6CE3

・挿入文字の送信

手順：「設定開始」→送信しない/送信するのどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

送信しない

BA001

送信する

BA000

◆メモリーモード時

送信しない

C0000

送信する

C0001

◆Bluetooth モード時

送信しない

C6000

送信する

C6001

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・28.2　プリフィックスの設定

※挿入文字の設定を行った後に、挿入文字の送信を「送信する」に設定します。

・挿入文字の設定

手順：「設定開始」→①②③のどれかを選択→16 進バーコード(P.61)→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

例：「A」を設定する場合、16 進バーコードの「4」→「1」の順にスキャンします。

①ケーブルモード時

BB0E5

②メモリーモード時

C10E5

③Bluetooth モード時

C70E5

・挿入文字の送信

手順：「設定開始」→送信しない/送信するのどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

送信しない

BA020

送信する

BA021

◆メモリーモード時

送信しない

C0020

送信する

C0021

◆Bluetooth モード時

送信しない

C6020

送信する

C6021

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・28.3　サフィックスの設定

※挿入文字の設定を行った後に、挿入文字の送信を「送信する」に設定します。

・挿入文字の設定

手順：「設定開始」→①②③のどれかを選択→16 進バーコード(P.61)→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

例：「A」を設定する場合、16 進バーコードの「4」→「1」の順にスキャンします。

①ケーブルモード時

BB8E5

②メモリーモード時

C18E5

③Bluetooth モード時

C78E5

・挿入文字の送信

手順：「設定開始」→送信しない/送信するのどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

送信しない

BA030

送信する

BA031

◆メモリーモード時

送信しない

C0030

送信する

C0031

◆Bluetooth モード時

送信しない

C6030

送信する

C6031

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

設定開始

/$%ENTR

・28.4　ポストアンブルの設定

※挿入文字の設定を行った後に、挿入文字の送信を「送信する」に設定します。

・挿入文字の設定

手順：「設定開始」→①②③のどれかを選択→16 進バーコード(P.61)→「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

例：「A」を設定する場合、16 進バーコードの「4」→「1」の順にスキャンします。

①ケーブルモード時

BAEE3

②メモリーモード時

C0EE3

③Bluetooth モード時

C6EE3

・挿入文字の送信

手順：「設定開始」→送信しない/送信するのどちらかを選択→「設定終了」の順にスキャンします。

◆ケーブルモード時

送信しない

BA010

送信する

BA011

◆メモリーモード時

送信しない

C0010

送信する

C0011

◆Bluetooth モード時

送信しない

C6010

送信する

C6011

設定中止

ZEXT

設定終了

ZEND

・28.5　文字の挿入

※指定の文字をバーコードデータの任意の位置に挿入する設定です。①～⑧の順に進んでいきます。

バーコード種に対し、挿入データ 1/挿入データ 2 の 2 つの設定を保存することができます。

①設定開始　　**※挿入できる文字は最大 2 文字です。**

/$%ENTR

②挿入データ設定

下記の表より文字を挿入したい対象バーコードの「挿入データ 1」か「挿入データ 2」を選択し

スキャンします。

バーコード種	挿入データ 1	挿入データ 2
UPC-A	D18E3	D1AE3
UPC-E	D38E3	D3AE3
JAN-13/EAN-13	D58E3	D5AE3
JAN-8/EAN-8	D78E3	D7AE3
Code39	D98E3	D9AE3
Interleaved 2 of 5 (ITF)	DF8E3	DFAE3
Industrial 2 of 5	E18E3	E1AE3
Codabar/NW-7	DD8E3	DDAE3
Code128/GS1-128	DB8E3	DBAE3
Matrix 2 of 5	E38E3	E3AE3
Code93	E58E3	E5AE3
Code11	E78E3	E7AE3

設定中止

ZEXT

MSI	E98E3	E9AE3
Plessey	EB8E3	EBAE3
GS1 Data Bar (RSS-14)	EF8E3	EFAE3
GS1 Data Bar Limited	F18E3	F1AE3
GS1 Data Bar Stacked	F38E3	F3AE3
GS1 Data Bar Expanded	F58E3	F5AE3
GS1 Data Bar Expanded Stacked	F78E3	F7AE3

③16 進バーコード(P.61)で挿入する文字を設定します。

例)「A」を挿入する場合：16 進バーコード「4」→「1」の順にスキャンします。

挿入する文字は、ASCII コードテーブルでご確認ください。

④P.61「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

⑤設定開始

/$%ENTR

⑥挿入開始位置指定

下記の表より文字を挿入したい対象バーコードの「挿入データ 1 の開始位置」か「挿入データ 2 の開始位置」を選択しスキャンします。

バーコード種	挿入データ 1 の開始位置	挿入データ 2 の開始位置
UPC-A	D16E0	D17E0
UPC-E	D36E0	D37E0
JAN-13/EAN-13	D56E0	D57E0
JAN-8/EAN-8	D76E0	D77E0

設定中止

ZEXT

Code39	D96E0	D97E0
Interleaved 2 of 5 (ITF)	DF6E0	DF7E0
Industrial 2 of 5	E16E0	E17E0
Codabar/NW-7	DD6E0	DD7E0
Code128/GS1-128	DB6E0	DB7E0
Matrix 2 of 5	E36E0	E37E0
Code93	E56E0	E5AE3
Code11	E76E0	E77E0
MSI	E96E0	E97E0
Plessey	EB6E0	EB7E0
GS1 Data Bar (RSS-14)	EF6E0	EF7E0
GS1 Data Bar Limited	F16E0	F17E0
GS1 Data Bar Stacked	F36E0	F37E0
GS1 Data Bar Expanded	F56E0	F57E0
GS1 Data Bar Expanded Stacked	F78E3	F7AE3

⑦16 進バーコード(P.61)を使用して文字の挿入開始位置を指定します。

例）先頭に挿入する場合：16 進バーコード「0」→「0」の順にスキャンします。

⑧P.61「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

設定中止

ZEXT

・28.6　文字の削除

※文字数を指定してバーコードデータの文字を削除する設定です。①～④の順に進んでいきます。

バーコード種に対し、先頭から/末尾からの 2 つの設定を保存することができます。

①設定開始

/$%ENTR

②削除文字数の設定

下記の表より削除したい対象バーコードの「先頭から」か「末尾から」を選択しスキャンします。

バーコード種	先頭から	末尾から
UPC-A	初期値：1 D14E0	D15E0
UPC-E	D34E0	D35E0
JAN-13/EAN-13	D54E0	D55E0
JAN-8/EAN-8	D74E0	D75E0
Code39	D94E0	D95E0
Interleaved 2 of 5 (ITF)	DF4E0	DF5E0
Industrial 2 of 5	E14E0	E15E0
Codabar/NW-7	DD4E0	DD5E0
Code128/GS1-128	DB4E0	DB5E0
Matrix 2 of 5	E34E0	E35E0
Code93	E54E0	E55E0
Code11	E74E0	E75E0

設定中止

ZEXT

MSI	E94E0	E95E0
Plessey	EB4E0	EB5E0
GS1 Data Bar (RSS-14)	EF4E0	EF5E0
GS1 Data Bar Limited	F14E0	F15E0
GS1 Data Bar Stacked	F34E0	F35E0
GS1 Data Bar Expanded	F54E0	F55E0
GS1 Data Bar Expanded Stacked	F74E0	F75E0

③16 進バーコード(P.61)で削除する文字数を設定します。

例）3 桁削除する場合：16 進バーコード「0」→「3」の順にスキャンします。

④P.61「設定保存」→「設定終了」の順にスキャンします。

設定中止

ZEXT

16 進バーコード

0 %00	1 %01	2 %02	3 %03
4 %04	5 %05	6 %06	7 %07
8 %08	9 %09	A %0A	B %0B
C %0C	D %0D	E %0E	F %0F

ASCII コードテーブル

	0 (*)	1(*)	0	1	2	3	4	5	6	7
0	Null		NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	Up	F1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	Down	F2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	Left	F3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	Right	F4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	PgUp	F5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	PgDn	F6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7		F7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	Bs	F8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	Tab	F9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A		F10	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	Home	Esc	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	End	F11	FF	FS	,	<	L	¥	l	|
D	Enter	F12	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	Insert	Ctrl+	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	Delete	Alt+	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

（*）USB キーボード時のみ有効

設定中止 ZEXT

設定保存 %OK

設定終了 ZEND

専用 USB ドングル　A-302（USB-HID）とのペアリング

1. Bluetooth 接続を専用ドングル A-302 に設定します。

手順：①②③の順にスキャンします。

①設定開始

/$%ENTR

②専用ドングル選択

C41D6

③設定終了

ZEND

2. 専用ドングルの MAC アドレスを登録し、ペアリングを行います。

手順：①②③④⑤⑥⑦⑧⑨の順に進んで行きます。

①設定開始

/$%ENTR

②専用ドングル MAC アドレス登録開始

B28FE

③専用ドングルの MAC アドレスを下記 16 進バーコードを使用してスキャンします。

MAC アドレス
半透明のケース越しに表示している 12 桁の数字・アルファベット

例）001C97501F12 の場合 0→0→1→C→9→7→5→0→1→F→1→2 の順にスキャンします。

0 %00	1 %01	2 %02	3 %03
4 %04	5 %05	6 %06	7 %07
8 %08	9 %09	A %0A	B %0B
C %0C	D %0D	E %0E	F %0F

④設定保存

%OK

⑤設定終了

ZEND

⑥専用ドングルをパソコンの USB ポートに挿します。

⑦設定開始

/$%ENTR

⑧ペアリングモード

ZPAR

⑨しばらく経つと、CM-520 からメロディー → ピピッと 2 回のビープ音が鳴ります。

※CM-520 がスリープモードなった時や他のパソコンに専用ドングルを差し替えた時は
トリガーボタンを 1 回押下すると再接続をします。

設定中止

ZEXT

設定中止

ZEXT